

ページ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています！
課まで。

御柱祭もいよいよ里曳きです。山出しのように晴天だといいですね。ゴールデンウィーク、御柱祭と続きますが、お出かけに疲れたら広報を読んでクイズに挑戦してみてください。

◎前回の答え（4/1）と当選者

問1 - ②491億9704万5千円

問2 - ③6つ

問3 - ②31%

正解総数19通（応募総数21通）の中から抽選で、市村志め子さん（南宮2）、今井照子さん（長地柴宮1）、小沢長人さん（堀ノ内1）、佐藤宏行さん（川岸中2）、中村つま子さん（川岸上4）に記念品をお送りします。

あなたに 挑戦!

No.222

広報クイズ

問1 「レイクタウンおかや」の分譲
区画数は？

答え ①28 ②29 ③30

問2 国道20号・142号バイパス開通
で短縮されたアクセス時間は？

答え ①約6分 ②約7分 ③約8分

問3 軽自動車税は毎年何月何日現在
で軽自動車等を所有している人
に課税される？

答え ①1月2日 ②4月1日
③6月1日

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号をお書きになり、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所（住所不要）》まで。5月20日の消印まで有効。ひと言書きそえてくださると嬉しいです。（ひと言は15日号の「みんなの声」のコーナーへ掲載させていただく場合があります）

市民レポーター だより

浜 まゆみさんの
市民総参加のまちづくり①



市民レポーター
はま
浜まゆみさん

二月から「岡谷市市民総参加のまちづくり基本条例」の策定検討市民会議に参加しています。今回は、その様子をみなさんにお知らせしたいと思います。策定会議には15名の市民のみなさんが参加しています。

まずはじめに、「岡谷市情報公開条例」、「パブリックコメント制度について」など、市の職員の方から説明を受け研修をしました。意見交換・検討を重ね6月30日までに提言書をまとめます。

委員のみなさんは岡谷市を発展させようという情熱を持っています。「シルク岡谷の歴史を大切にしよう」、「若者がワクワクするような町にしよう」、「岡谷の森林や緑を守ろう」、「商店街を活性化させよう」、「市民憲章のようにみんなに分かりやすいものがない」などいろいろな意見が出されました。この市民会議は、基本的に公開しているのが可能です。

市民総参加のまちづくりの基本条例と

は、政策作りに市民が参加していく権利を保障していくものです。

清掃活動や募金活動、子育てミニ集会など、もうみなさんそれぞれ活動されていますよね。ひとりひとりが岡谷市民としての誇りをもって岡谷を愛し、好きになれるといいですね。

はじめは、何だか難しそうだな、よくわからないな、と不安もありましたが、茅野市・諏訪市・下諏訪町の基本条例などいろいろな資料を見ながら、市の職員の方の説明を聞くうちに、だんだん条例とは何かがわかってきました。

第2回会議では、6人の市民の方が傍聴に訪れていました。会議終了後には委員の意見に「私も、そう思う。」とおっしゃっていました。基本条例は、岡谷市内すべての人（外国人でも、旅行者でも、財産を所有している人でも）に関係します。ぜひ傍聴なさってはいかがですか。

これから本格的に意見交換をしていきます。行政（市）と市民が手を取りあつて、力を合わせるができるような内容を盛り込んでいけたらと思っています。



みなさんに喜んでもらえる旅行を

はな おか くみ こ
花岡久美子さん
(長地)

Q (株)ソエイツアーにお勤めの
花岡久美子さん。
Q 仕事は何年目?
A 昨年の9月からで主にカウ
ンター業務を担当していま
す。
Q 余暇の過ごし方は?
A 韓国ドラマ「冬のソナタ」
にはまっています。日本のド
ラマにはない純粋な恋愛ス
トーリーに感動しました。
あとは、旅行に出かけた
り、ボクシングフィットネ
スをやったり、スノーボー
ドにも挑戦してみました。

Q 最近がんばったことは?
A 「冬のソナタ」の感動をよ
り身近に感じられるような
ロケ地を巡るツアーを企画
しました。みなさんに喜ん
でもらえる旅行を企画出来
た時はやりがいを感じま
す。
Q 将来の夢は?
A 早く先輩方のように仕事が
できるよつ、お客様から信
頼されるよつになりたいで
す。そして、これからも「行
つて良かった」と喜んでも
らえる旅行を考えていきたく
いです。

オラ ア トドス **Olá a todos! 国際交流員のモリハラ・ダイスケ** No.9
“ホームステイ”



日本に留学して2年目の夏休み、僕は日本で最も古く、魅力的なまち、京都でホームステイをすることにしました。京都へは何度も観光で行ったことがありましたが、日本にも結構長く住んでいたの、初めて日本に来たときに受けたほどの、日本文化に衝撃を受けるということはないだろうと思っていました。でも、それは間違いで、この経験は何ものにも変えがたいものになりました。

ホストファミリーの第一印象は最高とは言い難いものでした。家は、一階が湯葉の工場で、二階に住んでいました。はじめは、ホストマザーの言っていることがさっぱりわかりませんでした。いつも怒鳴っていて、不思議な訛りがあったからです。建物は、おそらく私の父と祖父の年齢を足したくらい古さで、朝になると、工場にある機械の熱や、夏の暑さのせいで、家中から湯気が出ているような感じがしました。家族はとても早寝早起きの生活だったので、そのリズムに合わせるのも大変でした。

しかし、ある朝、ちょっとした変化が起こりました。熱波や大豆の匂いが突然気にならなくなり、家族のお手伝いをするのが楽しくなってきたのです。それから、ホストマザーの言っていることもだんだんわかってきました。ホストマザーにも簡単な英語を毎日少しずつ教えて、外国人のお客さんとも会話がで

きるようお手伝いしました。ホストマザーはとても一生懸命勉強しましたが、なかなか単語が覚えられませんでした。

ホストファミリーのおかげで、初めておみこしを担ぎ、禅寺に泊まり、茶道を習い、京都や日本に住む人たちのことについて、今までとはまた違う賞賛の気持ちが生まれました。僕のホストファミリーも、家にいながらにして世界旅行をしたような経験をするのができたと、とても喜んでくれました。

今年、皆さんも同じ経験をすることができます。岡谷市国際交流協会では、3つものホームステイの企画をしています。一つ目は、6月に行われる一般市民のための、マウント・プレザント市(アメリカ合衆国ミシガン州)でのホームステイ体験。二つ目は、8月に岡谷市にやってくる7名のマウント・プレザント市の高校生の受け入れ。三つ目は、中高校生のための、オーストラリア、シドニー郊外での語学研修ホームステイです。生徒を受け入れるにしても、送り出すにしても、ホームステイはあなた自身に、そしてお子さんに、世界のいろいろな文化のことを、いろいろな角度から学ぶ機会となり、かけがえのない経験をさせてくれるはずですよ。

主な内容

CONTENTS

・結婚相談事業からほか……………	22
・ベストパートナー……………	23
・アフリカへ毛布を送る運動に ご協力くださいほか……………	24

市民総参加による
ひろげよう夢
育てよう
福祉のこころ

結婚相談事業から

～貴女との出会いを待っている方がいます!～

市社協の結婚相談所には男性16名女性3名が登録されていますが、今回は男性を紹介します。詳しく知りたい方は市社協へお電話ください。

会員No.1 S. O 居住地 岡谷市 年齢 31歳 趣味 テニス 職業 会社員 性格 優しくて、明るい *明るく健康な方希望	会員No.2 T. I 居住地 諏訪市 年齢 28歳 趣味 登山・旅行・テニス・スキー 性格 思いやりがあって優しい *将来的には親と同居 *自分の趣味に共感できる方希望
--	--

問い合わせ先 岡谷市社会福祉協議会 結婚相談所 ☎24-2121

平成16年度 中級者対象 点字講習会受講者募集!!

2001年に点字表記法が改正になりました。以前に点字講習会に参加されたことがある方、さらに点訳技術についてレベルアップを図りたい方を対象に点字講習会を開催します。

- 1 定員 20人
- 2 期日 6/12・6/19・7/10・7/17・7/31 (土曜日)
- 3 時間 午後1時～3時
- 4 会場 おかや総合福祉センター 201研修室
- 5 参加費 250円
テキスト代 1,050円
「点訳のてびき第3版」のある方はお持ちください。
- 6 講師 宮阪 政子 先生
協力：諏訪市赤十字奉仕団点訳班 光の会 会員
- 7 申し込み開始日 5月6日(木) 午前8時30分～
- 8 申し込み 岡谷市社会福祉協議会
☎24-2121 ☎24-3555



「車いす使用者用駐車場」を みんなで守りましょう!!

車いすを使用する人にとって幅は重要な問題です。車いすを使用していない人が「建物に近くて便利だから」「幅が広くて停めやすいから」といった理由で駐車してしまうのは困りますね。

あれは車いす使用者用駐車場よ。車いす使用者が車から乗降しやすいように他の駐車スペースより幅が広くなっているのよ。



ねえ、あそこの駐車場にある車いすマークはなあに?

車いす使用者が安心して外出するためには、専用駐車場を整備するだけでなくみんなの思いやりの心と気配りが不可欠です。



発行・編集

岡谷市社会福祉協議会
〒394-0081
岡谷市長地権現町
四丁目11番50号
☎ 0266-24-2121
☎ 0266-24-3555
メールアドレス
okasha@alto.ocn.ne.jp



ゼーダーと

いつも一緒に

北沢とも江

宿泊に関する私の考えは、犬が泊まれるのならどこでもよいというのではなく、他県からお客様を招いているので少しでも快適な所を選びたいと思っていました。そこで、実際に泊まってみなければわからないことも多いので、いくつかの宿泊施設を回ってみることにしました。中には、補助犬法の施行を知り、勉強したいと欲してくれるホテルもありました。それでも料金、食事の内容、犬のトイレの場所などが施設によって違うのでなかなか決めかねていましたが、二泊のうちの一泊目は補助犬法の施行以前より盲導犬の同伴を受け入れている富士見高原にあるホテルに決めました。それでも藜科に對する未練が消えません。なぜかという点、最初に宿泊を断られたことで、藜科やさらには、茅野市に對してすら、悪いイメージを持ってしまっていることに気がついていたので、今後はインターネットを利用することにしました。「旅の窓口」

という情報サービスには、実際に宿泊施設に泊まった人からの感想も寄せられています。その中から評判のよかったペンションを一つ選び、メールで宿泊を予約しました。盲導犬同伴であることはもちろん書き加えました。

二、三日して、ペンションから断りのメールが入りました。私は深呼吸をいくつもしてから電話をかけました。応対に出たペンションのオーナーさんが、たいそう困り果てている様子でした。今まで泊めたことのない盲導犬が五頭も一度に来るのです。無理もなかったかもしれせん。私が、「何が一番心配ですか？」と尋ねると、「何も知らないということが一番の不安です。」と答えられました。身体障害者補助犬法で、民間でも受入が義務付けられたという話もしましたが、そのことについては「全く知らなかった」というお答えでした。そこで実際に犬を見てもらいながら、話をしたいと申し出ましたら、それでいいということになり、数日後、近所に住む友人に付き添ってもらい、ペンションに行きました。若いオーナー夫妻は、熱心に私たちの話を聞いて初めて見る盲導犬に感心しながら、何に気を付ければよいのかと質問をして下さいました。宿泊については、快く同意してくれました。経験がないことに對し不安があっても、知ったからには何とか対処していこうとする、そのオーナー夫妻の姿勢に触れ、私は帰り道、自分を反省していました。

世の中のほとんどの人たちには、ペットと盲導犬の違いがわかりません。まして、補助犬法という法律があることもまだまだ知られていないのです。

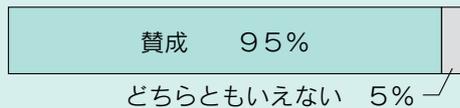
いのです。

その一般のひとたちの戸惑いや、素直な感覚をこの若いオーナー夫妻は持ち合せていました。当事者である私以外は、本当に何も知らないのだということ、むしろ気付かせてもらいました。法律の後押しがあつたとしても、実際に理解してもらうためには、私たち当事者が、できるだけ社会参加をして、実際に見てもらうことが、どんなに大切なことかということ、改めて認識しました。

『身体障害者補助犬法
推進アンケート報告』より抜粋

Q 不特定多数が利用する施設で補助犬を受け入れることに賛成ですか？

A 一般市民105人対象



賛成の理由（複数回答）

- ・犬のしつけが行き届いているから 68%
- ・身体障害者が社会参加する権利を守ることが大切だから 50%
- ・犬が好きだから 40%
- ・犬の健康管理が行き届いているから 19%

補助犬は「身体障害者補助犬法」に基づいて認定された、特別な訓練を受けた犬です。安全面、衛生面で周囲の人に迷惑をかけることのないように、社会のマナーもきちんと訓練されていますし、手入れも十分注意されています。

アフリカへ毛布を送る運動にご協力ください!!

～一枚の毛布は明日への希望～

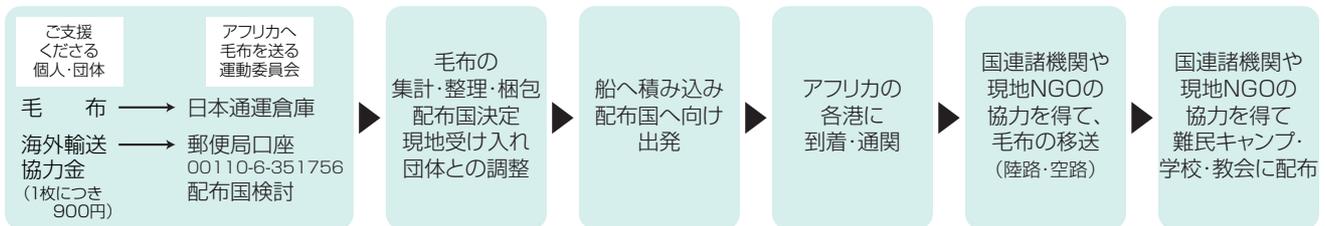
受付期間 4月1日から6月20日(日)

運動の目的・経緯

1984年当時アフリカは未曾有の大干ばつに見舞われました。エチオピアだけでも100万人を越える死者が出ました。こうした危機的状況に対処するため、当時、グラント事務局長（ユニセフ）が全世界に救援物資「毛布」のアピールを行い、それを受けて日本政府は171万枚の毛布をアフリカ8カ国に送ることができました。目標の100万枚を大幅に達成した事をもって「アフリカへ毛布を送る会」は同年解散しましたがアフリカ各地における毛布のニーズがまだ高いことを受けてその後も現在に至るまでいくつかの団体の合同プロジェクトとして毛布を送る運動を継続しています。これまでに320万枚以上の毛布が送られました。

皆さんのご協力ご支援により、この運動も20年目を迎えました。本年もアフリカ諸国の毛布のニーズに応え彼らの苦境を少しでも和らげる御手伝いをさせていただくことを目的に運動を行っています。ご協力をお願いいたします。

まごころを包んだ毛布がアフリカの方々に届くまでの仕組み



毛布受付期間 4月1日～	6月～7月下旬	8月～12月	10月～12月
--------------	---------	--------	---------

持ち込み場所

神明町フジクリーニング ☎23-3807

駅前フジクリーニング ☎23-2037

問い合わせ先 岡谷市身体障害者協会事務局

☎24-2433

主催 アフリカに毛布を送る運動推進委員会事務局

0180-99-3680 <http://www.mofu.org>

こんな毛布はご遠慮ください。

- ・穴があいたり、破れている毛布
- ・綿毛布やベビー毛布
- ・サイズが著しく異なる毛布

汚れの激しい毛布は洗濯をお願いします。

(洗濯代(300～500円)を添えていただければクリーニングを行います。)

「希望の里つばさ」でリサイクル「ペーパーポット」の製作・販売をはじめました。



古紙と水だけから作られ、自然分解する地球にやさしいリサイクルポットです。

目に見えるリサイクルの実践としていかがでしょうか。

他にもいろいろな商品がありますので

「希望の里つばさ」へおでかけください。

問い合わせ 希望の里つばさ ☎22-5874 まで

環境問題を考えるきっかけに…

物を大切に育てる心を育む…



岡谷市社協地域福祉活動計画

策定委員会委員の一般公募

岡谷市社会福祉協議会が設置をする岡谷市社協地域福祉活動計画策定委員会は、住民総参加の地域福祉の更なる推進を図るため平成16年度に「岡谷市社協地域福祉活動計画」を策定していきます。

策定するにあたり、あなたも委員になって計画づくりに参加してみませんか。

皆さんのご応募をお待ちしております。

- 募集人員……3名
- 応募条件……市内にお住まいの20歳以上の方
- 選考方法……レポートの提出をお願いします
▽400字詰め原稿用紙2枚程度
▽テーマ “住民参加の地域福祉のあり方”
日頃感じていること、もっとこうあるべきではといった観点からまとめてください。
- 応募締切……5月17日(月)必着
- 応募方法……住所、氏名、職業、電話番号を記述のうえ、岡谷市社会福祉協議会へ持参か郵送でご応募ください。
住所 〒394-0081 岡谷市長地権現町四丁目11番50号
☎24-2121

尊い善意をありがとうございます

平成16年2月1日から3月31日

●福祉基金へ

岩本末男様 北原正弘様 市立岡谷病院院友会様 中村純一様
美鈴工房キルト教室様 吉池繁夫様 金内顕夫様
川岸小学校ボランティア委員会様 中野誠様 下平敬太郎様
小口進一郎様 古畑福和様 東堀星桜会様 ユニー株式会社中京本部
「小さな善意で大きな愛の輪」運動推進本部様 尾沢賢一様
今井俊明様 横内孝文様 花岡博保様

●ボランティアセンターへ

・オムツ12枚 リハビリパンツ17枚 シャツ 唐沢徳三郎様
・バスタオル 山田ひで子様
・トイレットペーパー 岡谷市消費者の会様
・シャワートリエアー2個 4点ステッキ 今井節子様
・紙オムツ 匿名様 ・紙オムツ4袋 ひまわり共同保育所様
・車いす 今井俊明様 ・オムツ 匿名様
・洗濯洗剤5kg入り12袋 匿名様
・オムツ 尿取りパット 伊藤恵子様
・使用済み切手
・(株)コーケン様 和楽荘様 匿名2名様 RKKすわ様 宮坂喜具様
・(株)アルプス様 川岸小学校ボランティア委員会様
・カルチャーセンター様 ガールスカウト様 浜俊弘様
・岡谷下諏訪広域シルバー人材センター様 吉沢愛子様 今井久子様
・岡谷商工会議所様 有賀房子様 小井川四ツ葉の会様 諏訪印刷様
・岡谷市立長地小学校様 太田すま子様 小井川小学校児童会様
・岡谷生活学校様 上浜婦人の会ボランティア部様
・使用済みプリペイドカード
・和楽荘様 カノラホール様 ガールスカウト様
・川岸小学校ボランティア委員会様 小井川四ツ葉の会様
・小井川小学校児童会様 上浜婦人の会ボランティア部様 匿名様
・書き損じはがき
・川岸小学校ボランティア委員会様 匿名様
・未使用はがき 匿名様